

房総 だより

(農)房総食料センター

千葉県山武郡横芝光町上原 368-1

<http://www.boso.or.jp/>

☆産地情報をお知らせします。

発行：2020年7月17日

のう望話

農家の自家用野菜作り

農家が作物を育ててお金にするまでには多くの辛い作業が伴う。シッカリと準備をしてスタートはするが往々にして結果が伴わないことも。その上、契約栽培の場合では単に自分が損をするだけでは済まなく、一定の品質と量を確保しなければならない責任が有る。それ故、疲れ切った体でもカンカン照りの猛暑の中でも作業せざるを得ない。加えて近年では地球温暖化に伴う異常気象（とりわけ台風の強大化）が農作物に甚大な被害を与えることも^{しばしば}屡々。記憶に新しい昨秋の二つの台風の時には全く手の施しようも無く、暗闇の中で虚しくジッと過ぎ去るのを待つばかりであった。

その点、自家用野菜を育てるのはとても楽しい。失敗へのプレッシャーは皆無。農業のプロとしては野菜作りの基本的な知識は備わっているので特に難しさも無い。その上、作付け量も僅かだから十分手間暇をかけることもできる。結果、多くの場合極上のものが大量に収穫できる。



自家用野菜の第一はトマト。他にはスイカとトウモロコシ、時々オクラ等。スイカも買うとなれば結構な値段であるが 3 株も植えれば食べきれないほど採れる。自家用野菜栽培では本番ではできない様々な自分だけの試みが可能で、何度か繰り返して良い結果が得られれば、後に本番にも応用の利く新手法とも成り得るのでそれも大きな楽しみの一つ。一例を記すならアブラムシには牛乳、糖度を上げるのには酢、病気には納豆菌や乳酸菌、根っここの病気には光合成細菌などなどで良い結果を得ています。

そこで一句 自家採りのトマト手間暇詰まる赤

2020・07・16 乙女座のM